

○事業所名	インクルー相模大野北口教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 13日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 19日		2026年 2月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月実施される職員向けの運動研修を受講することで、利用児に期待出来る効果や発達に合わせた難易度の調整、介助の仕方や応用のポイント等、学ぶことが出来る為、より安全に運動が提供され、翌月への運動へ繋がられる。	運動研修に参加することで、補助の仕方やサポートする為の動きを理解することが出来る。	今後も運動研修を実施し、職員間で理解する。欠席し受けられなかった職員にも内容や補助の仕方等をレクチャーし、共通理解を図る。
2	のびのびと運動できるスペースと、療育(座学)のスペースを分けて活動することにより、子ども達が落ち着いて生活できるよう配慮している。	児発と放デイの活動スペースを分けて個別の課題等に取り組む事で、落ち着いた環境を提供できている。	職員間で定期的に、利用児の様子や現状の意見交換・情報共有のミーティングを重ねながら、支援の内容の向上に繋がるよう努めている。
3	来所時は必ず学習の定着を図る為に毎回宿題を終わらせて降所する。	下校したら直ぐに宿題に取り組める環境作りを提供している。 下校が遅い場合は帰るまでに終わらせるルールを決めている。	職員間で宿題の把握を共有しお終わらせて帰るよう促す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎車は全てカーシェアを使用している為、車の手配に時間を要する。 また、教室の傍まで車を入れられない為、駐車場まで児童も歩いている。	早めに予約をし、車の手配ができるよう準備を行う。 子供達も駐車場まで安全が保たれるよう考慮しながら誘導を行う。	適切な近隣の駐車場を探している。 交通ルールやマナーを守りながら歩けるよう声掛けを行う。
2	イベントや研修での具体的内容が保護者に周知されていない。	施設からイベント連絡はしているが見ていない人が多い。	保護者説明会だけではなく、保護者参加型のイベントや保護者交流会の場を設けていけるよう、時期や内容を検討する。
3	教室内にトイレが設置されていないので建物の共有トイレを使用している。	建物の構造上設置するのは難しいのでまとまって行くようにしている。	職員間で連携を取りながら一人では行かず、職員が同行しトイレに連れていき安全が守られるように配慮しながら誘導を行う。

事業所における自己評価総括表_児童発達支援

○事業所名	インクルー相模大野北口教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 13日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 19日		2026年 2月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月実施される職員向けの運動研修を受講することで、利用児に期待出来る効果や発達に合わせた難易度の調整、介助の仕方や応用のポイント等、学ぶことが出来る為、より安全に運動が提供され、翌月への運動へ繋げられる。	運動研修に参加することで、補助の仕方やサポートする為の動きを理解することが出来る。	今後も運動研修に意欲的に参加し、休み等で研修を受けていない職員にも内容や補助の仕方を周知する。また、不安な点や危険箇所のポイントを職員間で共有し、確認を行い安全面を十分に配慮しながら実施していく。
2	のびのびと運動できるスペースと、療育(座学)のスペースを分けて活動することにより、子ども達が落ち着いて生活できるよう配慮している。また、個別課題の時間は児発と放デイの利用児を分けて活動している。	個別課題の時間配分は、放デイの利用児より短く設定し、個々の様子を見ながら丁寧に進めている。	個別課題は個々の発達や理解力に合わせた内容を充実させる。
3	近隣にコミセンや公園・神社があり、虫探しや散歩を楽しんでいる。	新規の利用児に伝えるためにも、避難ルートを確認しながら散歩を取り入れている。	入職した職員にも、早急に避難場所等を把握してもらえるよう、実際に避難経路を歩きながら確認等する時間を確保していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎車は全てカーシェアを使用している為車の手配に時間を要する。また、教室の傍まで車を入れられない為、駐車上まで児童も歩いている。	早めに予約をし、車の手配ができるよう準備を行う。子供達も駐車場まで安全が保たれるよう考慮しながら誘導を行う。	適切な近隣の駐車場を探している。交通ルールやマナーを守りながら歩けるよう声掛けを行う。
2	イベントや研修での具体的内容が保護者に周知されていない。	施設からイベント連絡はしているが見ていない人が多い。	保護者説明会だけでなく、保護者参加型のイベントや保護者交流会の場を設けていけるよう、時期や内容を検討する。
3	教室内にトイレが設置されていないので建物の共有トイレを使用している。	建物の構造上設置するのは難しいのでまとまって行くようにしている。	職員間で連携を取りながら一人では行かず、職員が同行しトイレに連れていき安全が守られるように配慮しながら誘導を行う。